

平成23年度
教育委員会事務の点検及び評価報告書
(平成22年度事務事業対象)

平成23年9月
長門市教育委員会

目 次

はじめに	1
教育委員会の活動状況	2
1 教育委員会の活動状況について	2
教育委員会事務の点検及び評価制度	4
1 教育に関する事務の管理及び執行の状況の 点検及び評価の実施について	4
2 長門市教育委員会の権限に属する事務の 管理及び執行の状況の点検及び評価について	4
3 点検及び評価の対象事業について	7
4 有識者の総括的な意見	8
5 各事務事業の点検及び評価結果	9

はじめに

長門市教育委員会は、毎年度、教育行政方針を策定し、「第1次長門市総合計画」に掲げる基本目標「個性豊かに人が輝くまち」づくりの教育行政を推進しています。

一方、昨今の地方教育行政を取巻く環境は、教育基本法の改正に始まり、学習指導要領の改正、教育における地方分権の推進、そして教育委員会の責任体制の明確化など、大きく変化しようとしています。

このような中、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（昭和31年法律第162号）の一部改正により、平成20年度からすべての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。

また、点検及び評価を行うにあたっては、客観性を確保するために教育に関する学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされました。

この報告書は、同法の規定に基づき、本市教育委員会が実施した平成22年度事務のうち、主要な事務を対象に教育委員会自らが点検及び評価を行い、学識経験者等の意見をいただいで作成したものです。

教育委員会の活動状況

1 教育委員会の活動状況について

(1) 教育委員会の開催状況

教育委員会の会議は、原則として毎月1回「定例会」を開催し、必要に応じて臨時会を開催することとしています。

- ① 定例会・・・・・・・・12回（原則として毎月第4火曜日）
- ② 臨時会・・・・・・・・2回（随時）

(2) 教育委員会での審議及び報告

教育委員会の会議では「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第23条に定める事務（同法第26条及び「長門市教育委員会所管事務委任規則」の規定に基づき、教育長に委任された事務を含む。）について、議案審議及び報告を行いました。取扱い案件は、次のとおりです。

付議案件等（平成22年4月～平成23年3月）

区分	内 容	件数
議案	教育行政の運営に関する一般方針を決定すること	1
	規則及び規程の制定または改廃に関すること	19
	議会の議決を経るべき事件の議案に関すること	12
	学校その他の教育機関の設置又は廃止に関すること	1
	人事に関すること	10
	附属機関等の委員等の委嘱等に関すること	13
	通学区域に関すること	
	県費負担教職員の任免その他の進退の内申に関すること	1
	その他	7
協議		
報告		7

(3) 教育委員の活動

教育委員の各種行事への参加状況は次のとおりです。

① 幼稚園・小中学校計画訪問

月日	学校名	月日	学校名	月日	学校名
5/7	俵山小学校	5/28	明倫小学校	11/2	日置小学校
5/18	向津具小学校	5/31	三隅中学校	11/17	深川中学校
5/24	仙崎中学校	10/13	日置中学校	11/24	深川小学校
5/26	仙崎小学校	10/19	油谷小学校		

② 研修会等

・山口県都市教育長会議	平成22年	4月19日
・山口県市教育委員会協議会総会	平成22年	4月19日
・山口県市町教育委員会教育長会議	平成22年	4月19日
・山口県市町教育委員会委員長会議	平成22年	4月19日
・山口県市町教育委員長・教育長会議	平成22年	4月19日
・山口県市町教育委員研修会議	平成22年	4月19日
・夏季山口県都市教育長会議	平成22年	7月1日・2日
・秋季山口県都市教育長会議	平成22年	10月14日・15日
・中国地区都市教育長会総会・研究協議会	平成22年	10月21日・22日
・長門市学校教育研究大会	平成22年	10月27日

③ 式典

・長門市立小学校入学式	平成22年	4月8日・9日
・長門市立中学校入学式	平成22年	4月8日
・長門市立小学校卒業証書授与式	平成23年	3月18日
・長門市立中学校卒業証書授与式	平成23年	3月10日
・通中学校閉校式	平成23年	3月26日

教育委員会事務の点検及び評価制度

1 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実施について

平成18年12月の教育基本法の改正と平成19年3月の中央教育審議会の答申等を踏まえ、平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、「教育委員会の責任体制の明確化」を目的として、同法第27条に「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等」が規定されました。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律《抜粋》

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 長門市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

(1) 点検及び評価の目的

点検及び評価は、市民に対する行政の説明責任を果たすことによって、教育行政に対する市民理解と信頼性の向上を図るとともに、今後重点化を図らなければならない分野を明確にすることによって、市民が求める質の高い教育を提供していくことを目的としています。

(2) 点検及び評価の対象

① 対象期間

平成22度(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

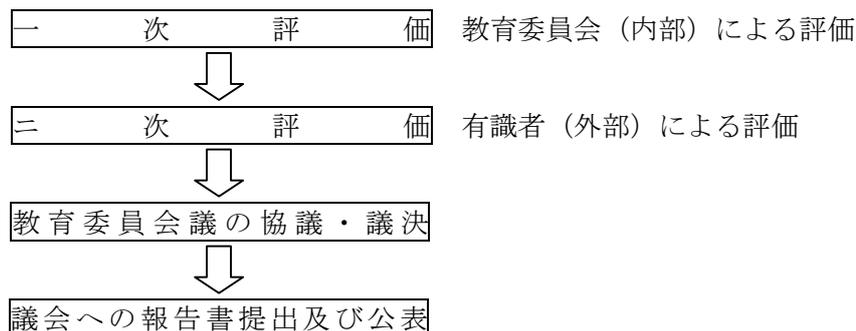
② 対象事務

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に規定されている教育委員会の権限に属する事務(市長部局において補助執行している事務を含む。)及び市長の権限に属する事務のうち教育委員会事務局において補助執行している事務

(3) 点検及び評価の実施方法

「第1次長門市総合計画」(平成19年度～平成28年度)に掲げる基本目標「個性豊かに人が輝くまち」づくりを推進するために策定した「平成22年度教育行政施策方針」に定める施策に関する事務事業ごとに活動状況を点検し、これを評価する方法により実施しました。

(4) 点検及び評価の流れ



(5) 有識者の知見の活用について

事務事業の点検及び評価の客観性を確保し、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、事務事業の点検及び評価に関する有識者（以下「有識者」という。）を置き、教育委員会が行った事務事業の点検及び評価の結果についてご意見をいただきました。

有識者は次のとおりです。

- ・村尾 紀孝（学識経験者）
- ・中原ヤナエ（学識経験者）
- ・松永 功（前小学校PTA）
- ・古屋 正次（前中学校PTA）
- ・上田 穰（社会教育）

長門市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検及び評価実施要綱

平成22年4月1日
教育委員会要綱第4号

（趣旨）

第1条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号以下「法」という。）第27条第1項の規定により行う教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（以下「点検及び評価」という。）について、必要な事項を定めるものとする。

（点検及び評価の対象）

第2条 点検及び評価の対象は、長門市教育委員会教育行政施策方針に定められた施策を推進する事務事業のうちから、教育委員会が選択したもの（以下「事務事業」という。）とする。

（点検及び評価の実施）

第3条 教育委員会は、当該事務事業を企画立案し遂行する立場から、毎年度、事業の必要性、効率性、有効性その他の事項を視点として、点検及び評価を行う。

(点検及び評価に関する有識者)

第4条 点検及び評価を行うにあたり、客観性を確保するため、事務事業の点検及び評価に関する有識者（以下「有識者」という。）を置き、教育に関し学識経験を有する者等の知見の活用を図る。

2 有識者は、教育委員会の求めに応じ、点検及び評価について意見を述べるものとする。

3 有識者は5人以内とし、教育に関し学識経験を有する者、教育に関し優れた識見を有する者のうちから教育委員会が委嘱する。

4 有識者の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、委員が欠けた場合における補欠の者の任期は、前任者の残任期間とする。

5 有識者は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

(市議会への報告等)

第5条 点検及び評価の結果は、毎年市議会に報告するものとする。

2 前項の報告の後に、点検及び評価の結果を市民に対し公表するものとする。

(補則)

第6条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この要綱は、平成22年4月1日から施行する

3 点検及び評価の対象事業について

基本目標	基本計画	基本施策	施策	事務事業	番号	
個性豊かな人間が輝くまち	学校教育・就学前教育の充実	就学前教育の充実	就学前教育の支援	幼保・小連携推進事業	1	
			地域・家庭教育の推進			
		学校教育の充実	教育内容の充実		外国語指導助手導入事業	2
					特別支援教育充実事業	3
					山口県青少年劇場等開催事業	4
					金子みすゞ児童作品コンクール事業	5
					研究指定校補助事業	6
					就学指導委員会	7
					教育支援センター事業	8
					学力向上対策事業	9
					いじめ問題に係る教育相談	10
		教育環境の整備・充実		パソコン整備事業	11	
				長門市学校給食センター建設事業	12	
				深川小学校改築事業	13	
				油谷小学校改築事業	14	
				学校施設耐震補強事業	15	
				キャリア教育推進事業	16	
	教員・指導者の資質の向上		夏季教育研修講座	17		
			長門市教育研究大会	18		
	学校運営の効率化		学校統廃合事業	19		
	生涯学習の充実	生涯学習・スポーツ活動の推進体制の整備		成人式開催事業	20	
				俵山公民館指定管理事業	21	
				家庭教育支援事業	22	
			スポーツの推進と参加促進		学校体育施設開放事業	23
					スポーツ教室・健康医学講習会開催事業	24
					長門市体育協会補助金	25
				長門市スポーツ少年団補助金	26	
				総合型地域スポーツクラブ育成	27	
		生涯学習・スポーツ指導者の育成		ニュースポーツ等指導者研修事業	28	
		人材・団体の育成	人材の発掘・活用		婦人団体活動支援事業	29
					人材バンク事業	30
			青少年健全育成の推進		放課後子ども教室推進事業	31
					青少年健全育成団体支援事業	32
			人権教育の推進		人権教育講座開設事業	33
				人権教育啓発推進事業	34	
				人権教育推進組織運営事業	35	
個性が輝く文化の創造		伝統文化の保存・継承	地域の伝統文化の保存	赤崎神社楽棧敷維持管理保存事業	36	
	保存・継承活動への支援					

4 有識者の総括的な意見

教育委員会が行った事務事業の点検及び評価の結果だけでなく、本市の教育行政全般について、次のとおり有識者から意見をいただきました。事務事業の点検及び評価の内容、方法等については、有識者の意見を踏まえながら、今後も改善していきます。

- 個々の事業について評価を行い、取り組むことも大事であるが、施策ごと等全体をとおしての総合評価的な手法についても検討を要する。
- 目標に対する評価基準があいまいである。評価の基準について具体的に定める等の改善を要する。
- 必要な事業であるが、今後の取り組みにおいては、積極的に「見直し」や「拡大」といったことについて、もっと踏み込むことが必要である。
- 内部評価が約80%の達成率で一定の評価はできる。評価基準があいまいで数値化は難しいと思うが、できるだけ数値で評価できるよう少しずつ時間をかけてその方向性を持ってほしい。
- 前年度の外部評価において、意見等が付されたものはそれらを踏まえて、検討を加え次年度以降の事業に反映し取り組む必要がある。

番 号	1	主 管 課	学校教育課
事 業 名	幼保・小連携推進事業		
施 策 名	就学前教育の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要	就学前教育と小学校教育との間の「なめらかな移行や接続」を図るため、幼保・小連携教育推進協議会を設置し、年2回の推進協議会を開催する。また、市内年中児を対象として年2回「5歳児すこやか相談会」を実施する。		
予 算 額 (決算額)	平成21年度	平成22年度	平成23年度(当初)
	39,000円 (32,872円)	54,000円 (20,106円)	44,000円
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	家庭との連携強化により諸問題の解決を図るため、本年度は、第1回の協議会に各園の保護者代表者にも出席を依頼した。幼保、小、保護者の三者による協議をとおして、保護者自身の家庭生活の振り返りや意識改革につながったとの報告を受けている。小学校入学期のスタートカリキュラムについても協議した。 《第1回協議会参加者数》平成22年5月13日 ・幼稚園・保育園教職員13名、小学校教員11名 ・各幼稚園・保育園の保護者代表者12名 《第2回協議会参加者数》平成22年8月25日 ・幼稚園・保育園教職員13名、小学校教員11名 5歳児すこやか相談会は、多くの相談を受けニーズに応じた助言や対応を行うことができた。 《第1回5歳児すこやか相談会》平成22年9月30日 8名実施 《第2回5歳児すこやか相談会》平成22年10月14日 8名実施 ※希望者が多かったため第1回目を2回に分けて実施した。 《第3回5歳児すこやか相談会》平成23年2月10日 4名実施		
課 題 と 今 後 の 取 組	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 完了		
	小学校では幼児期に体験してきた遊び的要素を小学校生活の中心をなす教科学習に組み入れるなど、カリキュラムの編成を工夫することで、幼児教育の成果を小学校教育につなげていく。また、5歳児すこやか相談会も早期に広く連絡し、必要に応じた適切な支援につながるようにする。		

〔事業名〕 幼保・小連携推進事業

外部評価	<ul style="list-style-type: none">○子どもの発達をつなぐという視点から課題を共有することのできる連絡協議会の意義は大きい。○早期発見、早期支援の必要性から、新たに始められた5歳児のすこやか相談会はぜひ継続実施を。○喫緊の課題で、拡充が望まれる。(予算面等)○成果は上がっていると判断できるが、小学校入学後の学校生活が円滑にできるよう「気になる子」の情報交換等にも力を入れてほしい。○スタートカリキュラムの編成上の重点目標を今後の取組へ盛り込むとよい。すべき事が明確化するのでは。
------	--

番 号	2	主 管 課	学校教育課
事 業 名	外国語指導助手導入事業		
施 策 名	学校教育の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要	市内中学校英語授業における教員助手、小学校での外国語活動の補助、地域における国際交流活動への協力を目的とする。		
予 算 額 (決 算 額)	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度 (当初)
	14,945,000 円 (14,685,812 円)	15,993,000 円 (14,947,451 円)	16,646,000 円
評 価 (取 組 状 況 及 び 成 果 等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>昨年度9月より、民間委託によるALT1名が指導にあっている(JET派遣は2名)</p> <p>中学校では、学級や学年を分割し習熟度別指導を実施している学校がある。ALTとのティーム・ティーチングにより基礎的・基本的な学習内容の習得や発展的な学習の充実を図り、生徒の学習意欲の向上につながっている。小学校では外国語担当教員は、発音の指導やコミュニケーション能力の育成についてALTを効果的に活用している。</p> <p>限られた人材による派遣回数を増やす対策として、午前を中学校、午後を小学校という派遣の日を設けた。また、校内研修会ではALTが講師を務め、教員の英語運用力向上に寄与した。</p> <p>(平成22年度 ALT一人あたりの年間派遣回数202回)</p>		
課 題 と 今 後 の 取 組	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 完了		
	<p>現在指導中のJET派遣によるALTが平成24年7月末で任期が終わる。今後も優秀な指導者を確保し続けるため、JET派遣・民間委託の継続または市雇用を考えている。</p>		

〔事業名〕 外国語指導助手導入事業

外部評価	<ul style="list-style-type: none">○JET派遣と民間委託について、学校現場の意見も参考に。○ALTの研修もよく行われ、効果を上げている。○それなりの成果は認める。ALTも概ね努力している。○財政的にも厳しい昨今、高額な予算で外国から人材を得るより、身近な国内講師等を活用するなど、将来的には見直す必要もあるように感じている。○昨年度の「今後の取組」に記載されている項目について、今年度の取組状況の中で触れられていない。
------	--

番 号	3	主 管 課	学校教育課
事 業 名	特別支援教育充実事業		
施 策 名	教育内容の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要	センター校（萩総合支援学校）やサブセンター校（仙崎小学校）の地域コーディネーターが幼稚園・保育園や小・中学校を巡回訪問したり、発達検査や教育相談を実施したりして発達障害のある幼児児童生徒の早期発見・早期支援に努める。また、教職員を対象とした研修会を実施し、教員の支援の質を上げ、教育効果を高める。		
予 算 額 (決 算 額)	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度（当初）
	314,000 円 (138,598 円)	294,000 円 (201,665 円)	262,000 円
評 価 (取 組 状 況) 及び成果等	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	特別な支援を要する園児児童生徒が増加する中、地域コーディネーターが有する高い専門性は、各園・各校への支援として欠かせない。また、各校の特別支援教育補助教員を対象とした研修会の実施は、適切な支援を行う上で有効であった。 《長門市特別支援教育補助教員研修会》 平成 22 年 8 月 3 日 ・参加者数 23 人（小学校 19 人、中学校 4 人） ・内 容 情報交換、講話（地域コーディネーター） 《地域コーディネーターの活用》 ○サブセンター校（仙崎小学校）のコーディネーターの現況 ・訪問による相談件数（本人・保護者・教員） 98 件 ・研修会講師（市教委主催研修会及び校内研修会） 13 件 ○センター校（萩総合支援学校）のコーディネーターの現況 ・発達検査及び相談（幼稚園・保育園・小学校・中学校）74 件		
課 題 と 今 後 の 取 組	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 完了		
	5歳児すこやか相談会、就学前の早期発見・早期支援の充実を図っているが、園や小学校で気になる子の親に、発達に係る相談等の理解を得ることが難しいケースがある。 今後は、地域コーディネーターを中心に相談支援体制の充実と相談後のフォローアップにいっそう努める。また、各小・中学校における校内支援体制の構築とともに、気軽に相談できるような働きかけや相談の機会が設けられるよう相談体制の充実を図る。		

〔事業名〕 特別支援教育充実事業

外部評価	<ul style="list-style-type: none">○教育相談の一環として発達検査を受け、それをもとに支援を考えていこうという意識が広がってきている。この事業の成果は大きい。(保護者の理解も深まってきている。)○今後拡充が求められる事業である。○教育関係のみならず、福祉行政との連携等、市行政全体で取り組むべき事業と考える。○昨年より、相談件数が倍増している実態から、相談後のフォローや相談体制の充実に向けての具体案も記すべきだと思う。
------	---

番 号	4	主 管 課	学校教育課
事 業 名	山口県青少年劇場等開催事業		
施 策 名	学校教育の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要	<p>児童生徒が文化に親しむ人になるためには、子どもの頃から水準の高い優れた文化に直接ふれ、感性を高めていく必要がある。また、優れた芸術に直接接する機会を与えることで、豊かな心を育み、生きる喜びや感動を体験できる場とするために本事業を開催する。</p> <p>年間4校以上の児童・生徒にこのような機会を与えたい。</p>		
予 算 額 (決 算 額)	平成21年度	平成22年度	平成23年度(当初)
	459,000円 (402,675円)	459,000円 (315,000円)	459,000円
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>平成22年度は5校を対象に実施した。児童生徒は、優れた演劇や演奏に感動したことを絵画や作文で表現したり、鑑賞から得たものを自分の演技や演奏に生かしたりしている。</p> <p>《公演実施対象校及び参加者数》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回ふれあい音楽公演 日本音を求めて (向津具小 57) ・子どものための優れた舞台芸術体験事業 (深川中 370) ・子どものための優れた舞台芸術体験事業 (俵山中 25) ・青少年劇場小公演 ヴァイオリンとチェロの演奏会 (浅田小 200、神田小 50) 		
課 題 と 今 後 の 取 組	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 完了		
	<p>限られた予算でより多くの児童生徒が優れた芸術に直接触れる機会を得るため、小中合同や近隣校合同開催を推進する。</p>		

〔事業名〕 山口県青少年劇場等開催事業

外部評価	<p>○学校や市単独での実施は難しいので、県や国の補助を受ける中でこの事業を活用して計画的に実施できるとよい。</p> <p>○予算をより有効に活用するためにも、単独校だけでなく広域でより多くの子どもたちに機会を与える工夫が望まれる。マンネリ化しないことも重要。</p>
------	---

番 号	5	主 管 課	学校教育課
事 業 名	金子みすゞ児童作品コンクール事業		
施 策 名	学校教育の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要	<p>市内の小学生を対象に、郷土の童謡作家「金子みすゞ」の作品を読み、感想文や感想画及び自由詩として表現された作品を募集し審査会を開催している。優秀な作品については、表彰するとともに、多くの児童が作品にふれられるよう優秀作品集を作成する。</p>		
予 算 額 (決算額)	平成21年度	平成22年度	平成23年度(当初)
	351,000円 (322,545円)	351,000円 (340,551円)	349,000円
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>本市ではみすゞのまなざしと感性を大切にした教育を推進している。各校においては「みすゞ読本」等の活用により、実態に応じた取組を行っている。また、本コンクールに対する保護者の関心も高く、夏期休業中に制作した作品が多く出品されている。本事業がみすゞ教育推進の一助となっている。</p> <p>平成22年度作品応募総数 310点(感想文40、感想画94、自由詩176)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最優秀賞 12点 ・優秀賞 24点 ・入選 50点 		
課 題 と 今後の取組	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 完了		
	<p>みすゞ教育推進の拡充のために、子どもにとって感想がもちやすい課題詩を選び、より多くの児童が参加できるようにする。</p>		

〔事業名〕 金子みすゞ児童作品コンクール事業

外部評価	<ul style="list-style-type: none">○継続することで子どもの感性を磨いていただきたい。○課題詩や子どもの作品等をケーブルテレビで紹介するなどして、広く市民にも伝えられるとよい。○コンクールの継続は大切であるが、全ての子どもたちが関心をもって何らかの形で参加できるとより良い。○他市、県外へも「みすゞ」をアピールする良い事業ではないだろうか。○対象を全国小学生に拡充してはどうか。
------	---

番 号	6	主 管 課	学校教育課
事 業 名	研究指定校補助事業		
施 策 名	教育内容の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要	各学校からの応募申請に基づき本市教育推進にふさわしい研究に対して、研究指定を行う。小中一貫教育（中学校区ブロック研究）、家庭・地域との連携教育（コミュニティ・スクール）、みずゞ教育（心の教育）、を視野に入れた研究課題を設定し、特色ある教育活動・学校づくりを推進し、その成果を本市小・中学校に広める。		
予 算 額 (決 算 額)	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度（当初）
	1,600,000 円 (1,600,000 円)	1,600,000 円 (1,500,000 円)	1,600,000 円
評 価 (取 組 状 況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	各ブロック及び指定校において、研究主題を掲げ、全教育活動を通じた計画的実践が行われており、組織的な取組がみられた。成果還元方策として、各ブロック・学校で研究集録を作成し市内全学校に配付した。その結果、市全体において、各ブロックにおける共通取組事項の設定、コミュニティ・スクールの増加等の成果がみられ、本市学校教育基本方針に沿った具体的な取組が促進されている。 平成 22 年度：3 ブロック 6 校を指定 (1) 小中一貫教育【深川ブロック、仙崎ブロック、菱海ブロック】750 千円 (2) 家庭・地域との連携教育【俵山小、浅田小、向津具小】450 千円 (3) みずゞ教育【通中、日置小、三隅中】300 千円		
課 題 と 今 後 の 取 組	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 完了		
	各ブロック・学校の研究成果の普及が必要である。 また、特別支援教育の推進等、学校が抱える喫緊の課題に対する研究についても支援していきたい。		

〔事業名〕 研究指定校補助事業

外部評価	<p>○教育方針に沿った研究指定で具体的取組が進んでいる。今後は、小中一貫の中で心の教育にどう取組むか、家庭や地域とどう連携していくか、特別支援教育にどう取組んでいくか、また新しい学習評価を小中一貫のカリキュラムにどう生かしていくかなど、4本柱の並列ではない取組が必要になってくるであろう。</p> <p>○指定は「与えられるものではなく 求めるもの」である。学校や地域の実態、市教育の方向性、教職員や保護者のニーズ等を踏まえ、より重点化してはいかがか。</p>
------	---

番 号	7	主 管 課	学校教育課
事 業 名	就学指導委員会		
施 策 名	学校教育の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要	<p>学校教育法施行令第18条の2（保護者等の意見聴取）に基づき、長門市就学指導委員会を設置している。教育学、医学、心理学、その他の就学に関する専門的知識を有する者等、教育委員会が委嘱した15人以内の委員をもって組織し、年に3回実施する。</p>		
予 算 額 (決 算 額)	平成21年度	平成22年度	平成23年度（当初）
	191,000円 (163,766円)	189,000円 (104,080円)	200,000円
評 価 取 組 状 況 〔及び成果等〕	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>本年度は、就学指導委員会を3回開催している。検討を要する児童生徒数が増加しているが、適正な就学に資するため専門的な立場から時間をかけて慎重な審議をしていただいている。</p> <p>《要検討児童生徒数》</p> <p>平成21年度 24人 平成22年度 44人（第1回 5/27 4名） （第2回 11/18 28名） （第3回 1/13 12名）</p>		
課 題 と 今 後 の 取 組	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 完了		
	<p>今後も、一人ひとりの障害の種類や程度等に適した教育の場について慎重に審議するためには、教育学、医学、心理学等に関し学識経験者を有する者で委員会を組織し、現在の委員数15人を維持する必要がある。また、要検討児童生徒数の増加及びきめ細かな就学指導をするためにも、今後も委員会の開催は年3回以上必要である。</p>		

〔事業名〕 就学指導委員会

外部評価	<p>○地域コーディネーター等と連携して、就学まできめ細かい対応が行われている。年々件数も多くなり、幼児に係る他部局の支援、協働が必要である。</p> <p>○必要不可欠である。就学指導には当該児童の保護者との人間関係が重要であり、日常的な係わりを大切にしたい。</p>
------	---

番 号	8	主 管 課	学校教育課
事 業 名	教育支援センター事業		
施 策 名	教育内容の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要	<p>社会情勢が急激に変化する中で、本市においても、心に悩みを抱えている児童生徒や不登校の児童生徒が増加傾向にある。そこで、教育委員会内に設置された「教育支援センター」で教育相談員等が電話や来所、訪問による教育相談活動及び不登校児童生徒・保護者・教職員への教育支援活動を行う。</p>		
予 算 額 (決算額)	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度 (当初)
	5,739,000 円 (5,616,002 円)	5,720,000 円 (5,508,512 円)	5,720,000 円
評 価 取組状況 及び成果等	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>「教育支援センター」の相談対応の年間延べ件数は 551 件（電話対応も含む）で、通室児童生徒の支援や保護者・教職員の相談対応に大変有効であった。特に、市内小中学校の不登校児童生徒が平成 21 年度 29 人から平成 22 年度 26 人と減少しており、通室児童生徒・保護者に対する教育支援活動の成果の表れと考えられる。</p> <p>不登校児童生徒 平成 21 年度 小学校 4 人、中学校 25 人 平成 22 年度 小学校 5 人、中学校 21 人</p> <p>平成 21 年度 相談対応児童生徒 15 件、保護者 52 件、 教職員 331 件、通室 24 件</p> <p>平成 22 年度 相談対応児童生徒 34 件、保護者 121 件、 教職員 229 件、通室 64 件</p>		
課 題 と 今後の取組	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 完了		
	<p>外からの相談を待つという姿勢から、各学校や家庭に向向いて積極的な支援へ転換を図っている。平成 23 年度はセンター職員が一新し、児童・生徒や保護者、教職員への相談活動・支援はもとより、学校に向向き、連携を一層密に図っていく。また、HP への掲載等、市民への周知を図る。</p>		

〔事業名〕 教育支援センター事業

外部評価	<ul style="list-style-type: none">○相談件数が前年度の2～3倍に増加しており、センターの役割は大きい。小中学生への学習支援も期待できる。○継続すべき事業の1つであるが、施設、設備、体制、立地条件等々、見直しの時期が来ているようにも感じる。(今のままでは限界がある。)○不登校の児童生徒へ学習面でも支援、アドバイスをセンターで担ってけるシステム作りを望む。
------	--

番 号	9	主 管 課	学校教育課
事 業 名	学力向上対策事業		
施 策 名	教育内容の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要	市内統一の学力・学習状況調査を国語と算数・数学で実施し、結果の分析・検証を行うとともに、これまでの学力向上対策委員会や専門部会での成果を生かしながら、抜本的・総合的な学力向上を具体化する。		
予 算 額 (決算額)	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度 (当初)
	1,364,000 円 (1,228,184 円)	1,337,000 円 (1,293,996 円)	1,204,000 円
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>小学校 4・5 年生、中学校 1・2 年生の市内統一の学力・学習状況調査結果と全国学力・学習状況調査結果の経年比較 (平成 19～22 年度) によって、各校の学力向上の取組における成果と課題が明確化された。より一層の学力の向上を目指し、国語科と算数・数学科の小・中一貫モデルカリキュラムを作成した。</p> <p>市学力・学習状況調査 [国語・算数 (数学)・生活調査] (小 4 月 20 日・中 5 月 12 日実施)</p> <p>【平成 21 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 4 年生 337 人 5 年生 300 人 ・中学校 1 年生 325 人 2 年生 297 人 <p>【平成 22 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 4 年生 261 人 5 年生 337 人 ・中学校 1 年生 277 人 2 年生 323 人 		
課 題 と 今後の取組	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 完了		
	学力調査の結果から、市内の児童・生徒の課題や各中学校区ブロックの児童・生徒の課題を明確にし、課題解決に向けた組織的な取組ができるようカリキュラム作成を進めていく。		

〔事業名〕 学力向上対策事業

外部評価	<ul style="list-style-type: none">○現場教職員とともに作り上げたモデルカリキュラムで、小中一貫の具体的な形が見えてきた。ブロック研究の1つの柱になるようにモデルカリキュラムを生かしていく取組に期待したい。○学力向上に異論はない。その前に、「求められる学力」「求める学力」とは一体何か。○カリキュラムを保護者を含め、一般にいかに関開していくか、実施していることを知ってもらうことからコミュニティスクールが始まるのではないか。
------	--

番 号	10	主 管 課	学校教育課
事 業 名	いじめ問題に係る教育相談		
施 策 名	教育内容の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要	<p>深刻化しているいじめ問題や不登校問題等の解決に向け、文部科学省をはじめとして、あらゆる諸機関で解決に向けて努力している。本市においても、いじめ問題や不登校問題は後を絶たない現状がある。そのため、市としてこれを重要課題として位置付け、教育相談員（臨床心理士）1名を配置して、児童生徒や保護者・教職員の相談にあたる。</p>		
予 算 額 (決 算 額)	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度 (当初)
	739,000 円 (720,000 円)	739,000 円 (720,000 円)	738,000 円
評 価 (取 組 状 況) (及 び 成 果 等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>教育相談員が、子どもの心の問題や親の悩み等の解決にあたり、個々の対応で児童生徒の心の安定が図られた事例も多い。特に、発達障害にかかるいじめや不登校に関する親の相談等、専門的な知見からの助言は効果的である。</p> <p>以下に示す相談対応件数以外にも電話での相談や問い合わせが多い中、長門市教育支援センターとの連携を図り、児童生徒や保護者・教職員が希望をもって前向きに取り組んでいこうとする相談対応がなされた点で評価できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談対応件数 67 件 (平成 21 年度 51 回) ・学校訪問相談 11 回 (平成 21 年度 6 回) ・教育支援センター会議 7 回 (平成 21 年度 7 回) 		
課 題 と 今 後 の 取 組	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 完了		
	<p>近年、人間関係づくりに困難さが見られる児童生徒が増え、発達障害に起因する事案や家庭環境により解決に時間を要す事案が増加傾向にある。継続的に個別対応の必要な児童生徒・保護者がいるので、今後も教育相談員（臨床心理士）の配置がぜひ必要と考える。</p>		

〔事業名〕 いじめ問題に係る教育相談

外部評価	<p>○いじめ問題に限らず色々な問題を抱えていて、継続してカウンセリングを受けさせたい児童・生徒が増えている。子どもの思いを解きほぐしていくことで好転するケースも多い。教育支援センターとも連携しながら拡大して行ってほしい。</p> <p>○重要な事業で拡充が望まれる。併せて、幼児教育や家庭教育の充実が諸問題、諸課題の解決に重要であると考えられるので行政の横のつながりも大切にしたい。</p> <p>○親が不安を感じた時どこへ相談すればよいかを知る手段として、ホームページが有効ではないか。当事者の親はなかなか学校などへ相談に行きにくいものだから、プライバシーに配慮しつつも、ホームページのQ&Aなどで一般事例等を知ることができると思う。</p>
------	---

番 号	1 1	主 管 課	教育総務課
事 業 名	パソコン整備事業		
施 策 名	教育環境の整備・充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要	<p>小中学校の情報教育用パソコンを計画的に更新し、情報教育環境を整備することにより、小中学校における情報教育が円滑かつ積極的に行われ、児童生徒の情報活用能力を育成する。</p> <p>パソコンの整備は、リース方式により概ね5年ごとに機器の更新を行い、経費負担の平準化を図る。</p>		
予 算 額 (決 算 額)	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度 (当初)
	22,376,000 円 (23,375,493 円)	20,753,000 円 (20,611,280 円)	21,449,000 円
評 価 (取 組 状 況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>市内全小中学校において情報教育用パソコン等の整備をしており、パソコン教室における整備台数は、児童生徒一人1台となっている。平成22年度は日置小学校（前回平成15年9月導入）と神田小学校（前回平成14年8月導入）、日置中学校（前回平成16年9月導入）の情報教育用パソコン等を更新した。</p> <p>【平成22年度更新分】 2,395,659 円（9月～3月リース代）</p> <p>日置小学校 児童用35台、先生用3台 神田小学校 児童用16台、先生用3台 日置中学校 児童用36台、先生用3台</p>		
課 題 と 今 後 の 取 組	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 完了		
	<p>パソコン教室における情報教育用パソコンの整備台数は、既に児童生徒一人1台となっているが、教員用パソコンが未整備である。</p> <p>今後は、教育用ソフトや電子黒板¹⁾等の情報教育用機器の整備を図るとともに教員一人1台のパソコン整備を計画的に進める。</p> <p>平成23年度は、電子黒板を市内の各小中学校に1台ずつ整備する。また、深川小学校において教員用パソコン29台を整備する。</p>		

1) 電子黒板とは、描いた内容を電子的に変換することが可能なホワイトボードのこと。映像を表示するだけでなく、画面上に書き込みを行ったり、既存の画像と書き込みを同時に映し出すこともでき、従来の黒板とパソコン、映像機器などが一体化したものが教育現場で注目されている。

〔事業名〕 パソコン整備事業

外部評価	<ul style="list-style-type: none">○パソコンの更新は、計画的に継続してほしい。○電子黒板の活用に期待している。○多額の費用を要する事業である。効率よく有効に活用するようカリキュラムの工夫も求められる。
------	---

番 号	1 2	主 管 課	教育総務課
事 業 名	長門市学校給食センター建設事業		
施 策 名	教育環境の整備・充実		
区 分	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 完了
事業の概要	<p>本市の学校給食施設（自校給食室 10 施設、共同調理場 3 施設）の多くは老朽化が進み、半数がドライシステム非対応など、文部科学省の「学校給食衛生管理基準」に適合した施設整備が求められているため、将来的な 1 センター化を見据えた 2,400 食規模のセンターを建設し、学校給食の衛生管理を充実させる。</p> <p>【施設概要】 建設位置：東深川 2366 番地 2（上郷区・長寿園跡地） 敷地面積：3,571 m² 建物構造：鉄骨造 2 階建 建築面積：1,455 m² 延床面積：1,624 m²（1 階・1,312 m² / 2 階・312 m²） 調理能力：2,400 食 / 日 厨房方式：完全ドライシステム</p>		
予 算 額 （ 決 算 額 ）	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度（当初）
	654,311,000 円 （473,345,606 円） [22 繰越 180,328,500 円]	424,091,000 円 （581,443,016 円）	0 円
評 価 （取組状況） 及び成果等	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>平成 22 年 9 月 1 日から供用開始し、高質で安全・安心な給食を提供するためのハード整備という観点においては、事業の目的は達成できたものと考えられる。</p> <p>【平成 21～22 年度事業実績】（21～22 年度継続事業費）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築工事（株中原組 / H21. 9. 26～H22. 7. 20） 418,740,000 円 ・ 電気設備工事（株セブンリフォーム / H21. 8. 28～H22. 7. 20） 60,480,000 円 ・ 空調設備工事（株中電工 / H21. 8. 31～H22. 7. 20） 71,190,000 円 ・ 給排水衛生設備工事（森永水道株 / H21. 8. 31～H22. 7. 20） 73,865,400 円 ・ 厨房設備機器（山口調理機株 / H21. 9. 26～H22. 6. 30） 299,250,000 円 ・ 屋外整備工事（株中原組 / H22. 6. 18～H22. 8. 10） 14,945,700 円 ・ 屋外整備工事（舗装）（安藤建設株 / H22. 6. 21～H22. 8. 10） 6,305,250 円 ・ 工事監理業務委託（株藤田建築設計事務所 / H21. 7. 23～H22. 8. 10） 9,345,000 円 		
課 題 と 今 後 の 取 組	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 完了		
	<p>将来的な児童・生徒数の減少が見込まれる中、1 センター化に向け深川中学校（自校方式）および日置学校給食センターを段階的に統合を行っていく必要がある。</p> <p>今後の運営においては、より安心安全で高質安価な学校給食を提供するため長門市学校給食センターの体制のもと見直し・工夫・改善に取り組む。</p>		

〔事業名〕 長門市学校給食センター建設事業

外部評価	<p>○給食センターの建設、安定した運営が着々と進められてきた。今後は学校とセンターの物理的な距離を人と人との交流（調理員さんや生産者と子どもをつなぐ工夫）で縮めていく取組を少しずつ増やしていくとよい。（食を通した心の教育も期待できる。）</p> <p>○今後は、安心・安全・安価な給食提供に是非取組んでいただきたい。</p>
------	---

番 号	1 3	主 管 課	教育総務課
事 業 名	深川小学校改築事業		
施 策 名	教育環境の整備・充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要	<p>深川小学校の校舎及び屋内運動場は、築後 50 年が経過し建物の随所が著しく老朽化している。耐力度も低下し耐震基準を満たしていないため、全面改築を行い、安全・安心な学習環境の構築を図る。</p> <p>【施設概要】 建設位置：東深川 2688 番地 1 外（藤中区） 建物構造：鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）2 階建 敷地面積：15,903 m² 建築面積：校舎棟 3,843 m²／屋内運動場 1,244 m² 延床面積：校舎棟 6,382 m²（1 階 3,321 m²／2 階 3,061 m²） 屋内運動場 1,466 m²</p>		
予 算 額 (決算額)	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度（当初）
	20,454,000 円 (20,328,250 円)	920,488,000 円 (785,332,750 円)	1,817,436,000 円
評 価 取組状況 及び成果等	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>平成 22 年度から校舎棟と屋内運動場の建設工事を実施。</p> <p>【平成 22 年度事業実績】（22～23 年度継続事業費）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・深川小学校校舎棟建築工事（第 1 工区） 379,323,000 円 ・深川小学校校舎棟建築工事（第 2 工区） 165,847,500 円 ・深川小学校校舎棟電気設備工事 23,606,100 円 ・深川小学校校舎棟給排水衛生設備工事 22,389,300 円 ・深川小学校校舎棟空調設備工事 16,867,800 円 ・深川小学校屋内運動場棟建築工事 152,380,800 円 ・深川小学校屋内運動場棟電気設備工事 2,644,200 円 ・深川小学校屋内運動場棟機械設備工事 1,800,000 円 ・深川小学校改築工事監理業務 8,862,300 円 ・深川小学校改築工事設計意図伝達業務 4,680,000 円 ・深川小学校改築検討委員会開催（1 回／委員報償費） 10,000 円 ・深川小学校改築事業建築確認申請等申請手数料 1,120,500 円 		
課 題 と 今後の取組	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 完了		
	<p>平成 23 年度は、校舎棟、屋内運動場棟の建築工事を継続して実施する。9 月下旬に新校舎への引越しを行った後、既存建物を解体し、グラウンド整備工事、プール改修工事等を実施する。</p> <p>平成 24 年 4 月の全面供用開始を目指す。</p>		

〔事業名〕 深川小学校改築事業

外部評価	○懸案の大きな事業が着々と進められてきたことは評価できる。計画段階からこの事業に、また建設に係わってきたたくさんの人の思いを子ども達にも是非伝えていってほしい。
------	--

番 号	1 4	主 管 課	教育総務課
事 業 名	油谷小学校改築事業		
施 策 名	教育環境の整備・充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要	<p>油谷小学校の校舎及び屋内運動場は、築後 50 年近くが経過し建物の随所が著しく老朽化している。耐力度も低下し耐震基準を満たしていないため、全面改築を行い、安全・安心な学習環境の構築を図る。</p> <p>【計画概要】 計画児童数：130 人 計画学級数：普通 6 学級（6 学年×1 学級）／ 特別支援 2 学級 計画面積：校舎棟（2 階建） 3,308 m² 屋内運動場 894 m² 総事業費：約 13 億円</p>		
予 算 額 (決算額)	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度（当初）
	17,000 円 (11,000 円)	1,051,000 円 (42,000 円)	19,096,000 円
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>平成 19 年度から、学校関係者、P T A 代表、地域住民代表等で組織する改築検討委員会を設置して意見交換等を行ってきた。 平成 22 年度については、改築検討委員会を 3 回開催し、基本構想の策定を行った。</p> <p>【平成 22 年度事業実績】 ・改築検討委員会開催（3 回／委員報償費） 42,000 円</p>		
課 題 と 今後の取組	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 完了		
	<p>設計業務委託については、地元業者を中心とし、特色ある学校、課題解決等がなされる発注方法を検討する。 平成 23 年度については、耐力度調査および基本設計を実施する。基本設計は、改築検討委員会をはじめ学校関係者等との意見を反映させ、平成 24 年度末までに実施設計を完了する。 平成 25 年度から工事に着手し、平成 26 年度末の完成を目指す。</p>		

〔事業名〕 油谷小学校改築事業

外部評価	<p>○地域の願いも受けとめながら、計画的に進めていってほしい。</p> <p>○多額の予算を要する事業であり、将来を見据えた学校となるよう十分な協議検討を加えた立案としていただきたい。</p>
------	---

番 号	15	主 管 課	教育総務課
事 業 名	学校施設耐震補強事業		
施 策 名	教育環境の整備・充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要	平成19年3月に策定した長門市学校施設整備計画(学校施設耐震化推進計画)に基づき、耐震性の低い校舎・屋内運動場の耐震補強工事を行い、安全かつ安心な学習環境の構築を図る。		
予 算 額 (決 算 額)	平成21年度	平成22年度	平成23年度(当初)
	447,002,000円 [20繰越34,744,000円] (35,899,500円) [22繰越445,846,500円]	445,846,500円 [22繰越445,846,500円]	67,276,000円
評 価 (取 組 状 況) 及び成果等	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>大規模地震により倒壊の危険性が高いIs値¹⁾0.3未満の学校施設を優先して事業を実施。</p> <p>【平成22年度事業実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・向陽小学校屋内運動場耐震診断・耐震補強計画策定業務委託(繰越) (向山根建築設計事務所/H21.8.11~H22.5.24) 6,667,500円 ・明倫小学校校舎・屋内運動場耐震補強設計業務委託(繰越) (向香月建築設計事務所/H21.8.11~H22.4.30) 8,274,000円 ・仙崎中学校校舎・屋内運動場耐震補強設計業務委託(繰越) (榑藤田建築設計事務所/H21.8.11~H22.7.31) 15,624,000円 ・大畑小学校屋内運動場耐震補強に伴う関連設計業務委託(繰越事業) (榑藤田建築設計事務所/H21.8.11~H22.7.31) 945,000円 ・明倫小学校校舎・屋内運動場耐震補強工事(繰越) 15,624,000円 ・明倫小学校校舎・屋内運動場耐震補強工事監理業務(繰越) 2,782,500円 ・仙崎中学校管理教室棟耐震補強工事(繰越) 92,778,000円 ・仙崎中学校管理教室棟耐震補強工事伴う電気設備工事(繰越) 3,969,000円 ・仙崎中学校校舎・屋内運動場耐震補強工事監理業務委託(繰越) 5,680,500円 ・仙崎中学校屋内運動場耐震補強工事(繰越) 113,221,500円 ・仙崎中学校屋内運動場耐震補強工事伴う電気設備工事(繰越) 6,226,500円 ・仙崎中学校特別教室棟耐震補強工事(H23年度~繰越) 0円 ・仙崎中学校特別教室棟耐震補強工事監理業務委託(H23年度~繰越) 0円 ・向陽小学校屋内運動場耐震補強工事実施設計業務(H23年度~繰越) 0円 ・向陽小学校校舎棟耐震診断・耐震補強設計業務(H23年度~繰越) 0円 ・菱海中学校校舎・特別教室棟耐震診断・耐震補強設計業務(H23年度~繰越) 0円 ・向津具中学校屋内運動場耐震診断・耐震補強設計業務(H23年度~繰越) 0円 		
課 題 と 今 後 の 取 組	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 完了		
	<p>学校施設耐震化推進計画の前倒しを行い、Is値0.3未満の施設を優先して耐震化への取組を実施しているところである。</p> <p>平成23年度は、仙崎中学校特別教室棟の耐震補強工事を実施する。平成24年度以降、Is値0.7未満の学校施設も含め計画的かつ年次の取組を行い、耐震化の早期完了を目指す。</p> <p>また、「長門市立小中学校適正配置方針」との調整を図る中で計画の見直し等についても検討する。</p>		

〔事業名〕 学校施設耐震補強事業

外部評価	○検査にも補強工事にも多大な経費が必要であるが、安全安心な学習環境を整えるために今後においても計画的、継続的に進められ早期に耐震化を完了することが望まれる。
------	--

1) Is 値（構造耐震指標）とは、耐震診断により建物の耐震性能を示す指標で、Is 値 0.6 以上で耐震性能を満たすとされていますが、文部科学省は学校では 0.7 以上に補強するように求めています。Is 値 0.3 未満は大規模な地震（一般的に震度 6 強程度）により倒壊の可能性が高い建物とされています。

番 号	1 6	主 管 課	学校教育課
事 業 名	キャリア教育推進事業		
施 策 名	学校教育の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要	平成17年度に、各中学校のキャリア教育担当者と地域の事業所代表により立ち上げた「長門市キャリア教育実践協議会」を継続開催し、本市のキャリア教育の充実を図る。		
予 算 額 (決算額)	平成21年度	平成22年度	平成23年度(当初)
	21,000円 (7,844円)	28,000円 (17,760円)	22,000円
評 価 取組状況 及び成果等	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>実践協議会を2回実施した。各実践協議会で、各学校がキャリア教育に係る実践の報告をした。小学校は職場見学や勤労観をはぐくむ体験活動、中学校は職場体験活動が主である。</p> <p>《実践協議会参加者》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所代表者 2名 ・市内小・中学校キャリア教育担当者 18名 <p>《協議内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校と家庭・地域・事業所等との連携によるキャリア教育の推進 		
課 題 と 今後の取組	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 完了		
	小・中学校の発達段階に応じた系統的・計画的なキャリア教育を推進していく必要性から、各中学校ブロックでキャリア教育の全体計画を作成する。		

〔事業名〕 キャリア教育推進事業

外部評価	<ul style="list-style-type: none">○「キャリア教育＝職場体験」にならないように、協議会や研修会を通して啓発して欲しい。実践事例を持ち寄ることで、道徳・生活科・総合的な学習等をあらためてキャリア教育の視点から見直すことができる。○中途半端な事業に受け取られる。例えば「ふるさと学習」的なものとセットにできないか。○事前指導の重要性と積み重ね、継続性が必要である。
------	---

番 号	17	主 管 課	学校教育課
事 業 名	夏季教育研修講座		
施 策 名	教員・指導者の資質の向上		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要	「生きる力」「心の教育」「特色ある学校づくり」など、教育の質的転換が求められている今日、各界で活躍されている先達の生き方や考え方、実践などに直接ふれる機会をもつ。夏季休業中に、講師を招聘して4つないし5つの研修講座を設け、教職員の研修の場とする。		
予 算 額 (決算額)	平成21年度	平成22年度	平成23年度(当初)
	137,000円 (41,480円)	137,000円 (67,992円)	87,000円
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	1.5日間の講座選択という日程で設定した。教職員のアンケート結果では、実践に役立ち、充実した講座であったと全体評価も高かった。 1日目 実技講座「簡単にできる護身術」長門警察署(36人受講) 教養講座「子どもたちのネットトラブル・その現状と対処」(48人受講) 教養講座「発達障害の子どもたちの理解と支援をつなぐためのヒント」岡村隆弘(102人受講) 2日目 教養講座「接遇」～すぐに役立つ『教職員としてのマナー』杉山裕子(72人受講)		
課 題 と 今後の取組	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 完了		
	本市学校教育の目指す姿や教育の今日的課題に関連した講座内容にしていく。教職員が興味をもって参加できる講座の内容とする。		

〔事業名〕 夏季教育研修講座

外部評価	<p>○2日間で4～5講座設けるのは運営上大変だと思うが、充実してきている。こうした研修の場は必要である。これから進めようとしている「スタートカリキュラム」や「小中一貫モデルカリキュラム」を学ぶ場としても期待できる。</p> <p>○講座内容等を精査し、より充実したものを期待する。</p>
------	---

番 号	1 8	主 管 課	学校教育課
事 業 名	長門市教育研究大会		
施 策 名	教員・指導者の資質の向上		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要	市内全小中学校教職員が研究交流する場として大会を開催する。「開かれた学校づくり」「生涯学習のまちづくり」の観点から保護者や市民にも開放する。また、市内の中学校ブロック（仙崎、深川、俵山、三隅、日置、菱海、向津具）での学校教育の研究支援を行う。		
予 算 額 (決算額)	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度 (当初)
	323,000 円 (310,710 円)	449,000 円 (259,003 円)	369,000 円
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	市内全小中学校教職員が研究交流する場として本大会が開催されており、長門市の学校教育の方向性を教職員全員で再確認できた点で高く評価できる。また、小中連携推進をはじめとした長門市教育の充実・発展に資するブロック発表や、市民に開放された講演等、有効性は極めて高いと考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・市内各小中学校から出品展示作品 約 49 作品 ・ブロック発表 仙崎中学校ブロック（仙崎中学校） 三隅中学校ブロック（三隅中学校） ・講演「呉の小中一貫教育」 講師 呉市教育委員会 長岡 利生 [参加者約 300 名] 		
課 題 と 今後の取組	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 完了		
	コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育の取組をさらに進めていくために、具体的な取組や期待できる成果等をわかりやすく広めていく。出品作品は 21 年度に比べて減少している。学校の統廃合と個人研究の減少があげられる。今後、作品の出品を促していきたい。		

〔事業名〕 長門市教育研究大会

外部評価	<p>○長門市の教育方針、目指す姿を市内全教職員が一堂に会して共有する場として重要である。方針がより明確になっていくとともに「みんなでこの道をゆこう」という気持ちの高まりも期待できる。</p> <p>○これまでの積み上げとマンネリ化の打破等、工夫・改善が見られるが、より充実したものにするためには、中長期的な構想をもって重点化していくことも必要である。</p>
------	--

番 号	19	主 管 課	教育総務課
事 業 名	学校統廃合事業		
施 策 名	学校運営の効率化		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要	<p>学校の小規模化は、児童生徒の学校における人間関係の形成においても、部活動や学校行事等における多様な選択においても支障が想定されることから、平成19年2月策定の「長門市立小中学校適正配置方針」に基づき、統廃合により適正な教育環境ができる一定の学校規模の確保を図る。</p>		
予 算 額 (決算額)	平成21年度	平成22年度	平成23年度(当初)
	15,088,700円 (14,996,980円)	1,708,000円 (1,671,116円)	210,000円
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>平成23年3月31日をもって次のとおり中学校1校を統廃合。</p> <p>通中学校 (閉校式：平成23年3月26日) → 仙崎中学校</p> <p>閉校記念行事開催費補助金 1,000,000円 制服等購入費補助金 527,116円 制服等購入費補助金(前年統廃合 向津具中学校分) 144,000円</p>		
課 題 と 今後の取組	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 完了		
	<p>平成19年2月策定の「長門市立小中学校適正配置方針」において統廃合する学校に位置づけられている小中学校5校のうち、23年度以降の統廃合については、生徒数の推移や状況の変化等を見極めるなかで実施年度等について検討をする。</p> <p>また、廃校になった学校の跡地利用についても、関係部署、各地域の関係団体と連携を取りながら有効活用に努める。</p>		

〔事業名〕 学校統廃合事業

外部評価	<ul style="list-style-type: none">○合併後の平成18年度に策定された適正配置方針に沿って十分に協議を重ねながら進められてきたことは評価できる。○該当校の学校運営、教職員組織について学校教育課の支援も重要であり、配慮がなされている。○過小規模校の解消、適正な教育環境が提供できる学校規模の確保のためにも統廃合は止むを得ない。○地域や関係者への早期の情報提供等を行い、理解を得る努力を続けてほしい。○廃校になった施設は、市民活動の場として利用できるように検討を要する
------	--

番 号	20	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	成人式開催事業		
施 策 名	生涯学習・スポーツ活動の推進体制の整備		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要	市として新成人のお祝いをする。 【期日】平成23年1月3日（月） 【会 場】ルネッサながと 【対象者】485人（H3.4.2～H4.4.1）・出席者338人 【内 容】式典、アトラクション、記念撮影		
予 算 額 （ 決 算 額 ）	平成21年度	平成22年度	平成23年度（当初）
	1,416,000円 (1,255,000円)	982,000円 (885,864円)	1,384,000円
評 価 （ 取 組 状 況 及 び 成 果 等 ）	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	本市の成人式は、式典、アトラクション、記念撮影と、他市と比べる簡素な内容ではあるが、参加者の満足度が高いと評価している。 実施後のアンケートは次のとおり（回答率28.1%） 式典について「とても良かった」32.6%、「良かった」60% アトラクションについて「とても良かった」41.0%、「良かった」51.5% 開催日について「とても良かった」40.0%、「良かった」44.2%		
課 題 と 今 後 の 取 組	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 完了		
	進行や受付を手伝っていただくジュニアリーダーズクラブに運営上の意見を聞きながら、方向性としては、本市として新成人を祝う式典として、簡素ではあるが厳かで規律のある成人式を維持していく。		

〔事業名〕 成人式開催事業

外部評価	<p>○ジュニアリーダーズクラブの起用は人材育成の視点からも意義がある。簡素の中にも厳かな式典が継続できるとよい。</p> <p>○新成人に事務局の一員として加わってもらい、「自分たちの成人式は自分たちで」という意識をもってもらうことはいかがか。(近年、随分立派な成人式になっている。)</p>
------	---

番 号	2 1	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	俵山公民館指定管理事業		
施 策 名	生涯学習・スポーツ活動の推進体制の整備		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要	地域住民に俵山公民館の管理・運営を委託する。 【管理団体】俵山地区発展促進協議会 【委託期間】H20. 10. 1～H23. 3. 31		
予 算 額 (決算額)	平成21年度	平成22年度	平成23年度(当初)
	11,701,000円 (11,403,422円)	11,983,000円 (11,316,850円)	11,683,000円
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	指定管理についてはおおむね良好と判断される。 社会教育主事講習にも参加し、職員も精力的に業務に従事している。		
課 題 と 今後の取組	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 完了		
	今年度は指定管理の切換え年度である。他の公民館についても指定管理の実施時期について、計画的に実施していきたい。		

〔事業名〕 俵山公民館指定管理事業

外部評価	<ul style="list-style-type: none">○地域の良さを生かした住民の手による運営の良いモデルができたことは評価できる。○指定管理の範として、より成果が期待される。○昨年の取組状況に比べて、今年が取組がよく見えてこない。
------	---

番 号	2 2	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	家庭教育支援事業		
施 策 名	地域・家庭教育の推進		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要	<p>家庭教育振興のため、乳幼児期の学習援助及び相談事業を実施し、さらに市内小・中学校及び保育園、幼稚園に家庭教育学級を開設する。</p>		
予 算 額 (決算額)	平成21年度	平成22年度	平成23年度(当初)
	530,000円 (530,000円)	661,000円 (410,000円)	614,000円
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>各家庭教育学級では学級生の確保や講座の内容について苦勞されながらも、市の補助基準に沿って確実に実施されているところである。実施額が下回っているのは、公立保育園の協力が難しかったことによる。</p> <p>実施された家庭教育学級においては、意見交換会や合同研修会など学級役員の学習会を開催したことにより、学級の運営について理解が高まり、成果が得られた。</p>		
課 題 と 今後の取組	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 完了		
	<p>市単独の補助事業であるから一定の制約は必要であるが、マイクロバスの手続きや補助対象の範囲を緩和するなどして、学級運営をよりスムーズにできるように改める。</p>		

〔事業名〕 家庭教育支援事業

外部評価	<p>○入学後、子どもの家庭での生活の立て直しが大きな課題となっている。 乳幼児期の親の学びの機会が増えていくとよい。子ども未来室とも連携しながら推進して行ってほしい。</p> <p>○大切な事業とは考えるが、会員の固定化や活動内容のマンネリ化等、見直すべき課題も多い。</p> <p>○家庭教育学級の意義のPRが引き続き必要と思われる。</p>
------	---

番 号	2 3	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	学校体育施設開放事業		
施 策 名	スポーツの推進と参加促進		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要	地域住民のスポーツ活動の場として学校体育施設を開放し、生涯スポーツの振興を図る。		
予 算 額 (決算額)	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度 (当初)
	467,000 円 (204,135 円)	317,000 円 (173,000 円)	317,000 円
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	地域住民が気軽にスポーツに親しむため、市内の全小中学校体育施設を開放しており、事業としての必要性は高い。 <決算内訳> 鍵管理謝金 (向陽) 年 24,000 円 消耗品 (ワックス・モップ等) 149,000 円		
課 題 と 今後の取組	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 完了		
	今後も、地域住民が気軽にスポーツに親しめる場として、学校体育施設開放事業を継続していく。 廃校となった施設についても、体育施設として管理し地域住民が気軽にスポーツに親しめる場としていく。		

〔事業名〕 学校体育施設開放事業

外部評価	<p>○学校体育施設は十分に活用されている。管理については年1回でも学校と協議する場があるとよい。</p> <p>○「地域住民が気軽にスポーツに親しめる場」や「スポーツの内容」になっているか。</p>
------	--

番 号	24	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	スポーツ教室・健康医学講習会開催事業		
施 策 名	スポーツの推進と参加促進		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要	各種スポーツ教室を開催し、市民が健康で豊かな生活を送るための機会を提供する。		
予 算 額 (決算額)	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度 (当初)
	688,000 円 (556,000 円)	638,000 円 (636,800 円)	598,000 円
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	市民が各種スポーツの基本を学びスポーツに親しむ機会が増すことにより、健康の維持増進を図っている。 平成 22 年度 ウォーキング教室 1 回 ミニテニス教室 24 回		
課 題 と 今後の取組	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 完了		
	今後も、市民がスポーツに親しむ機会を増やすため、23年度はチャレンジ・ザ・ゲームの教室を開催していく。		

〔事業名〕 スポーツ教室・健康医学講習会開催事業

外部評価	<p>○継続して講習会が開催されている。会場を色々な場に広げて、参加しやすい工夫が望まれる。</p> <p>○近年、市民の生活は大きく変化してきている。生活実態とニーズをしっかりと把握して立案することも大切と考える。</p>
------	--

番 号	25	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	長門市体育協会補助金		
施 策 名	スポーツの推進と参加促進		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要	各種スポーツ大会の開催、加盟団体の育成強化等の活動を行っている社会体育団体を支援することにより生涯スポーツ活動の促進を図る。		
予 算 額 (決算額)	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度 (当初)
	12,524,000 円 (12,300,780 円)	12,524,000 円 (12,240,023 円)	12,524,000 円
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	長門市体育協会は市民ハイキング、グラウンドゴルフ大会、市民スポーツフェスティバル、市民駅伝大会等の各種大会を開催し、市民のスポーツ振興、体力・競技力の向上を図っている。 <決算内訳> 事務局人件費 7,906,228 円 大会参加負担金等の歳入 748,900 円 事務費 1,747,518 円 差引き 12,240,023 円を補助 事業費 3,335,177 円		
課 題 と 今後の取組	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 完了		
	今後も、市民の参加できるスポーツ大会を開催し、また、加盟団体の育成強化等を行うため、事業を継続していく。		

〔事業名〕 長門市体育協会補助金

外部評価	<ul style="list-style-type: none">○市民参加型のスポーツ大会の企画運営、団体の育成は今後も必要であるが、受益者負担を視野に入れて検討することも必要ではないか。○補助金の有効活用と事業の充実を。○各種大会の内容も変化している種目もあるだろうから見直してみてもどうか。
------	---

番 号	2 6	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	長門市スポーツ少年団補助金		
施 策 名	スポーツの推進と参加促進		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要	<p>各種スポーツ大会の開催、加盟団体の健全育成活動を行っている社会体育団体を支援することにより生涯スポーツ活動の促進を図る。</p>		
予 算 額 (決算額)	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度 (当初)
	1,400,000 円 (1,400,000 円)	1,400,000 円 (1,400,000 円)	1,400,000 円
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>青少年の健全育成とスポーツの振興のため、以下の事業に対する補助を行った。団員は減少するも行事への参加者は微増。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チビッコ青空天国種目別交歓大会（9種目に636名参加） ・スポ少祭り（ニュースポーツ等3種目に110名参加） ・スポーツ少年団指導者研修会（指導者・母集団から2回139名参加） <p>上記3事業の事業費は469,911円。平成22年度登録人数は723名。また、補助金には各団への育成費補助や山口県体育大会参加激励費(県体派遣171名)も含まれている。</p>		
課 題 と 今 後 の 取 組	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 完了		
	<p>今後も、チビッコ青空天国種目別交歓大会、スポ少祭り、スポーツ少年団指導者研修会等を開催し、青少年の健全育成とスポーツの振興を図るため、事業を継続していく。</p>		

〔事業名〕 長門市スポーツ少年団補助金

外部評価	<ul style="list-style-type: none">○たくさんの地域の指導者の熱意で子どもたちが育っている。指導者研修会や学校との連絡会をとおして子どもの健全育成に寄与する団体になるよう、更なる支援を期待する。○青少年の健全育成にとって大切な事業である。○マンネリ化を防ぐことや、各団体の指導者の育成も重要な課題と考える。○チビッコ青空天国種目別交歓大会、スポ少祭り等子どもの数も減り、スポ少の現状も年々変化しているので、見直しが必要ではないか。○年に一度、全スポ少の活動内容等をのせたプリントを作成して配布するだけでも、もっとスポーツに親しむ子どもを増やせるのではないか。
------	---

番 号	27	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	総合型地域スポーツクラブ育成（コミュニティスポーツクラブ育成）		
施 策 名	スポーツの推進と参加促進		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要	<p>地域の子どもからお年寄りまでが気軽にスポーツを楽しめる総合型地域スポーツクラブの育成を図る。（自主運営の環境整備支援）</p>		
予 算 額 （ 決 算 額 ）	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度（当初）
	80,000 円 (80,000 円)	0 円	0 円
評 価 （ 取 組 状 況 及 び 成 果 等 ）	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>県のモデル事業で発足したクラブネッツ大畑の活動は、今後の市内各地のクラブづくりに大きく影響を与えるものであるため、活動を支援した。</p>		
課 題 と 今 後 の 取 組	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 完了		
	<p>クラブネッツ大畑に関しては、自主運営が可能だと判断し、平成 21 年度で事業を完了した。新たに 3 地区（三隅・俵山・伊上）で総合型地域スポーツクラブの設立準備委員会を立ち上げ、予算的な面での支援はないが、側面的にクラブ設立の支援をしていく。</p>		

〔事業名〕 総合型地域スポーツクラブ育成（コミュニティスポーツクラブ育成）

外部評価	<ul style="list-style-type: none">○クラブネット大畑は他地区の範である。クラブネット大畑をモデルに、地域に合ったコミュニティスポーツクラブが出来ていくとよい。見守りながら適切な支援が行われることを期待する。○「人・物・金」のうち、「金」の支援はなくなっても引き続き人的、物的支援は可能な限り続けるべきである。
------	--

番 号	28	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	ニュースポーツ等指導者研修事業		
施 策 名	生涯学習・スポーツ指導者の育成		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要	誰でも気軽に親しめ、楽しめるニュースポーツ等の振興を図るため研修会等に参加し、指導者の育成を推進する。		
予 算 額 (決算額)	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度 (当初)
	52,000 円 (49,400 円)	52,000 円 (52,000 円)	52,000 円
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	指導者を育成することにより市民へのスポーツ振興を図っている。 平成 22 年度研修会等 萩地域スポーツ推進委員研修会 8 人 クラブマネジャー養成講習会 4 人 にこにこステップ運動講習会 1 人		
課 題 と 今後の取組	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 完了		
	今後も、研修会等の参加者確保に努め、指導者を育成することで市民へのスポーツ振興を図っていく。		

〔事業名〕 ニュースポーツ等指導者研修事業

外部評価	<p>○指導者としての人材確保が課題と思われる。</p> <p>○スポーツ振興関連事業について、それぞれ目的があり特色もあるが、全体を整理、統合、重点化、効率化を図る方向で見直しも必要ではないか。</p>
------	--

番 号	29	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	婦人団体活動支援事業		
施 策 名	人材の発掘・活用		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要	<p>長門市連合婦人会の活動を財政的及び事務局的に補助する。行政課題の解決に向けた活動を側面から支援する。</p>		
予 算 額 (決算額)	平成21年度	平成22年度	平成23年度(当初)
	736,000円 (736,000円)	716,000円 (716,000円)	716,000円
評 価 (取組状況及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>婦人会は、多くの任意団体にもその構成員として求められるほど市の主要団体として位置づけられている。婦人会独自の活動に大きな変化はないが、毎年、地道に活動を続けるかたわら、山口国体への積極的な参加や各種奉仕活動に対して、市内外からも高く評価されている。</p> <p>長門市連合婦人会補助金 716,000円 (市からの補助金は全額事業費に使われている)</p> <p>平成22年度会員数 670人(油谷384人、仙崎266人、俵山20人) 会員ひとりの年会費 油谷400円、仙崎500円、俵山1,000円</p>		
課 題 と 今後の取組	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 完了		
	<p>活動部隊として支える若い婦人会員の確保が大きな課題であり、今後のあり方について、時代に対応した活動の模索や後継者の育成について、団体とともに考えたい。</p>		

〔事業名〕 婦人団体活動支援事業

外部評価	<p>○婦人会は長年の実績と貢献があるが高齢化が著しい。このため、若い会員の確保が課題であるが、様々なボランティア団体、育成・推進団体等で活躍している婦人は多い。地域に合った活動を期待する。</p> <p>○前々からの課題である「若い世代の全員の増強」なくして将来に多くは望めない。喫緊の課題である。</p> <p>○昨年度の補助金額の適正化についての外部評価が検討されていないと思われる。</p>
------	---

番 号	30	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	人材バンク事業		
施 策 名	人材の発掘・活用		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要	<p>学校や、生涯学習活動を行っている団体で、専門的な知識を有する講師を必要とした場合に、事前に登録していただいた個人・団体を紹介し、経費の一部を支給する。</p> <p>約110の個人・団体の登録があるが、平成22年度はニーズが少なく、延べ12回の派遣にとどまった。</p>		
予 算 額 (決 算 額)	平成21年度	平成22年度	平成23年度(当初)
	100,000円 (80,000円)	80,000円 (24,000円)	100,000円
評 価 (取 組 状 況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>平成22年度実績</p> <p>登録者 個人92人、18団体</p> <p>利用団体 延べ2小学校(実質同じ)、延べ4中学校(実質2校)</p> <p>前年度と比べて活動実績が下がっている。</p> <p>開かれた学校の中で、ボランティアで支援するケースが増え、人材バンクとの弊害が生じている。</p>		
課 題 と 今 後 の 取 組	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 完了		
	<p>「地域協育ネット」という新しい制度の中で、生涯学習グループや地域の人々を学校に派遣する取組を検討しており、これと人材バンクをうまくリンクさせる見直しを行う。</p> <p>現行の謝金を支払うしくみは平成23年度で廃止し、平成24年度からは、人材登録・データ管理、情報提供を目的とする制度に変更する。</p> <p>また、登録されたデータについては、公民館等の問い合わせや相談に活用する。</p>		

〔事業名〕 人材バンク事業

外部評価	<p>○各学校の支援ボランティア組織が拡大しているが、校区を越えた専門的な人材を求める場合、是非継続・充実が必要である。特に、指導者に金銭的負担をかける場合、人材バンクからの経費支給は大きな支援となっている</p> <p>○経費を伴う限り、その専門性が問われる。ボランティアとの区別を明確にし、新しい人材発掘の努力も必要である。</p>
------	--

番 号	3 1	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	放課後子ども教室推進事業		
施 策 名	生涯学習・スポーツ活動の推進体制の整備		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要	放課後の子どもの見守り、健全育成。 【対 象】 小学1年生～6年生 【実施校】 俵山小学校・神田小学校 向陽小学校（平成23年度から）		
予 算 額 （ 決 算 額 ）	平成21年度	平成22年度	平成23年度（当初）
	1,259,000円 (1,257,900円)	1,345,000円 (1,345,000円)	3,491,000円
評 価 （ 取 組 状 況 及 び 成 果 等 ）	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	市内の小規模校の放課後児童対策として進めている。平成23年4月に向陽小放課後子ども教室が立ち上がり、未実施校は2校（通小・向津具小）となった。		
課 題 と 今 後 の 取 組	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 完了		
	向津具小から設置の要望あり。来年度予算の確保も含めて、平成24年4月設置に向けて準備を進めていく。		

〔事業名〕 放課後子ども教室推進事業

外部評価	<p>○成果や運営上の課題等が具体的に明記されるとよい。</p> <p>○時代のニーズにあった重要な事業であり、可能な限り拡充が望まれる。</p>
------	---

番 号	3 2	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	青少年健全育成団体支援事業		
施 策 名	青少年の健全育成の推進		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要	<p>青少年健全育成団体への活動費補助及び活動の側面支援や事務局業務の支援を行う。基本的には各団体の自主的な運営に委ねているが、専門的な問題や行政課題に関する問題については側面から支援する。</p>		
予 算 額 (決 算 額)	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度 (当初)
	681,000 円 (681,000 円)	681,000 円 (681,000 円)	681,000 円
評 価 (取 組 状 況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>子ども会育成連絡協議会、青少年育成市民会議の事務については社会教育指導員を配置し、支援していることで、団体の健全な運営が確保できているが、指導員配置の必要性については引き続き考察する。</p> <p>子ども会育成連絡協議会補助金 213,000円 青少年育成市民会議補助金 277,000円 小学校PTA連合会補助金 151,000円 ガールスカウト活動費補助金 40,000円</p>		
課 題 と 今 後 の 取 組	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 完了		
	<p>ガールスカウトについては、すでに自主運営が行われているが、他の3団体については、事務局の自主運営が求められる。</p> <p>上部団体との関係や、団体に期待される活動内容から、一個人に事務局を任せることは困難であり、また、自主運営をするとなると事務局にある程度の謝金が必要であるが、予算措置は困難なため当面、現状維持とする。</p> <p>将来的には3団体の自主的運営について検討を行う。</p>		

〔事業名〕 青少年健全育成団体支援事業

外部評価	<p>○補助金により各団体が活動を推進している。こうした支援をしながら所管し、指導性を発揮して行ってほしい。</p> <p>○諸団体を整理・統合した形での補助事業は良い。各団体が一人歩きできるよう、引き続き側面からの支援は必要である。</p>
------	---

番 号	3 3	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	人権教育講座開設事業		
施 策 名	人権教育の推進		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要	市民を対象に人権教育を推進するための講座を開設する。 H22.7 裁判員制度についての研修 H22.8 人権問題理解のための講演会 H22.12 人権問題理解のための講演会（みすみ教養大学と共催）		
予 算 額 (決 算 額)	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度 (当初)
	278,000 円 (184,000 円)	273,000 円 (207,311 円)	391,000 円
評 価 (取 組 状 況 及 び 成 果 等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	人権教育推進委員会と連動させた事業であり、実施回数は前年度より減少したが、委員会主導の充実した取組となった。		
課 題 と 今 後 の 取 組	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 完了		
	参加者の募集については、毎回苦心しているが、セミナーの内容については、参加対象者の種類を絞り込むなど、的を絞った参加者募集も検討したい。		

〔事業名〕 人権教育講座開設事業

外部評価	<ul style="list-style-type: none">○「課題」である、内容によって参加者募集の絞り込みや、各種団体との連携を図りたい。○困難な事業であるが成果は着実に上がっている。今後も地道に検討を重ねながら推進していただきたい。
------	--

番 号	34	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	人権教育啓発推進事業		
施 策 名	人権教育の推進		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要	<p>人権問題についての認識を深めるため、市職員、市民を対象に講演会を開催する。</p> <p>【期 日】平成22年11月3日(祝・水)</p> <p>【会 場】ラポールゆや</p> <p>【対象者】一般市民500人</p> <p>【内 容】①盲目のピアニスト 掛屋 剛志(長崎県立佐世保養護学校)、 ②「罪や非行を犯した人の人権」講師 桂 才賀(落語家)</p>		
予 算 額 (決算額)	平成21年度	平成22年度	平成23年度(当初)
	545,000円 (538,000円)	775,000円 (521,360円)	380,000円
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>人権教育講座開設事業と同様、人権教育推進委員会と連動させた事業であり、委員への人権意識の定着はもちろんのこと、委員が所属する団体等へもその効果は波及している。</p> <p>実施後のアンケート(回収率56.8%)によると、「かなり満足」69.7% 「まあよい」25.0%と大変高い評価をいただいた。</p>		
課 題 と 今後の取組	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 完了		
	<p>本事業は、その年度の人権教育事業の集大成であるので、今後ともわかりやすい問題提起により、人権教育に取り組んでいく。</p>		

〔事業名〕 人権教育啓発推進事業

外部評価	<p>○講演者の生き方に学びながら「人権」について考えることのできる良い講演会が続いている。</p> <p>○人権教育講座開設事業と同様、成果は認められる。講師の選定等に苦慮されることと思うが、情報収集を常に行うことも大切である。</p>
------	---

番 号	35	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	人権教育推進組織運営事業		
施 策 名	人権教育の推進		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要	人権教育推進委員会を開設し、市民の意見を取り入れた施策の立案、事業の実施を行う。人権教育推進委員会委員14人、会議年5回開催。		
予 算 額 (決算額)	平成21年度	平成22年度	平成23年度(当初)
	284,000円 (283,000円)	305,000円 (250,620円)	410,000円
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	推進委員が自主的に活動するような進行に配慮し、行政主導の事業展開にならない取組となっているが、もう少し踏み込んだ取組の余地はある。		
課 題 と 今後の取組	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 完了		
	セミナーやフェスティバルの周知方法について、ほっちゃんテレビに出演するなど積極的なPRに取組みたい。		

〔事業名〕 人権教育推進組織運営事業

外部評価	<p>○人権に関する啓発活動全体を行政と一緒に企画・運営していく推進組織を目指すという方向性は、時間がかかるかもしれないが大事だと考える。</p> <p>○行事の開催時期の検討や市民への情報提供など活性化への取組が必要である。</p>
------	---

番 号	3 6	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	赤崎神社楽棧敷維持管理保存事業		
施 策 名	地域の伝統文化の保存		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要	国指定の「赤崎神社楽棧敷」を保存していくため、楽棧敷の保守点検をはじめ周辺の維持管理を行う。		
予 算 額 (決算額)	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度 (当初)
	701,000 円 (686,937 円)	655,000 円 (637,517 円)	452,000 円 (減額分は交付金対応)
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	「赤崎神社楽棧敷」周辺の維持管理を行うことで、楽棧敷の保存が図られ、赤崎まつりをはじめ、深川小学校全校児童による棧敷集会を通じて先人の思いや野外劇場のすばらしさを感じ得るなど、様々な行事で活用されるとともに、市民の憩いの場にもなっている。		
課 題 と 今後の取組	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 完了		
	維持管理業務としては、楽棧敷周辺の草刈清掃管理業務、緑地管理業務、松くい虫防除作業委託業務などがあり、いずれも「赤崎神社楽棧敷」を後世に残すためには欠かせない業務であり、今後も引き続き維持管理に取り組んでいく。		

〔事業名〕 赤崎神社楽棧敷維持管理保存事業

外部評価	<ul style="list-style-type: none">○文化財を維持するには経費もかかるが、先人の技術や思いを伝えるものとして大事にしてほしい。○重要な事業で維持すべきと考える。○国指定外の文化財の保護にも力を入れていただきたい。○棧敷をもっと色々な時に活用することを考えてはどうか。(野外劇場としてイベントを企画し、市民に素晴らしさを感じてもらえるような)○教育方針3本柱の1つ「文化の創造」に入るものが、本事業の1つしかないのはバランスが悪い。地域の伝統文化に関する事業を増やしてはどうか。
------	--